社会資本総合整備計画 事後評価書

令和07年06月05日

計画の名称	第3期 国東市宅地耐震化推進事業（防災・安全）												
計画の期間	令和06年度 ~ 令和06年度（1年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	国東市												
計画の目標	令和5年度実施した変動予測調査（二次スクリーニング計画）により早期に安全性把握の必要性が確認された大規模盛土造成地において、第二次スクリーニングを実施し、結果を公表することで被害の防止・軽減につなげる。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	20	A	20	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 $C / (A + B + C + D)$	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R6当初		R6末
1	第二次スクリーニングを2箇所実施し、調査結果を公表する。 第二次スクリーニングにより安全性の確認・把握を行う。HP等による第二次スクリーニングの結果公表率を100パーセントとし、宅地所有者等への周知を図る。 (第二次スクリーニング結果公表率) = (第二次スクリーニング結果公表個所数) / (第二次スクリーニング実施個所数)	0%	%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 国東市 まちづくり推進課	事後評価の実施時期 令和7年6月
	公表の方法 市ホームページ等
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	2 盛土について第二次スクリーニング調査を実施し、調査結果の公表を実施した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
継続して調査・観察を行い、安全性の確保に努める。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	100%
	最終実績値	100%